

多発性硬化症 2017 | Disease Landscape & Forecast

2017年8月発刊

成熟しているが高利益が見込める MS DMT 市場は、現在、複雑な治療アルゴリズムの移行が新規薬剤によって促進され、細分化が続く。ロシュ/ジェネンテック社の Ocrevus（オクレリズマブ）により再発性 MS での競合が激化し、導入に関して長年続く議論が加熱化する。一方で、治療が不十分な進行性 MS 患者群の治療が Ocrevus によって拡大される。これとは別に、償還当局が医療費の支配に乗り出す状況において、迫り来る新規ジェネリック薬参入はこの高コスト市場で歴史的な転換点となり、後続するブランド薬の市場ポテンシャルが制限される。この複雑な背景で、薬剤開発企業は、強力な抗炎症薬で占められた現在の市場で「次の最先端」とされる MS の神経保護剤及び修復薬の開発に関して焦点を再度明確化した。交差し合うこれら要因の理解が、進展する本市場における既存・新規薬剤の成功に重要になる。

現在は費用対効果に優れた非ステロイド性抗炎症薬（NSAID）とオピオイド鎮痛薬のジェネリック薬が支配しているが、副作用の緩和を目指し、高薬価な乱用防止剤形オピオイド鎮痛薬や既存 NSAID の新規配合剤等のブランド薬が処方される場合も多い。

リジェネロン/テバ/田辺三菱社やファイザー/イーライリリー社の神経成長因子（NGF）を標的とするバイオ製剤等の新規薬剤、並びに生活様式の影響による診断患者数増加が 2026 年までの市場成長の主な促進要因である。

調査におけるキーポイント

- Ocrevus の商業的展望は他の強力な DMT と比較してどうか？
- Ocrevus は特に進行性 MS 市場でどのような影響があるか？
- ジェネリック競合で MS 市場はどう形成されるか？

- 基本である既存注射剤、既存・次世代の経口薬、バイオ製剤は進展する治療アルゴリズムでどのような臨床的役割を担うか？
- KOL はバイオジェン社の革新的な再ミエリン化が期待されるオピシヌマブをどう考えるか？

商品説明

Disease Landscape & Forecast : 卓越した疫学、既存治療パラダイムの明快な洞察、詳細なパイプライン評価、詳細なインタビューと文献調査による薬剤売上予測を提供する包括的な市場戦略情報です。